

平成30年度（2018年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文試験

A日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は4枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 30 年度（2018 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小 論 文
------	-------

出典：坂井豊貴『多数決を疑う 社会的選択理論とは何か』

（岩波新書・2015年）75頁—81頁

なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにする、表題を省略するなど、原文の一部に改変を加えてある。

問1 下線部において、主権の役割が、「一般意志に基づき、共同体内での取り決めに定めることである。」とされているが、なぜそのような考えられるのかについて、本文の記載内容をまとめつつ400字以内で説明しなさい。

問2 本文で示された一般意志に関するルソーの考えを参考に、多数決で決めるのが正当とは思われない事柄の有無について言及しつつ、少数派は過半数による多数決の結果に従うべきか否かについて、あなたの意見を600字以内で論じなさい。

下線部 79頁12行